

第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）に係る
市民アンケート調査 報告書

令和元年12月
三鷹市

目 次

I アンケート調査の概要	
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査項目	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	1
II 調査結果の概要	2
III 調査結果	
1. 基本属性	
(1) 年齢	3
(2) 居住年数	4
(3) 居住地区	5
2. 第4次三鷹市基本計画第2次改定(1次案)において重点的に取り組むべき課題	6
(1) 年齢別	7
(2) 居住年数別	8
(3) 居住地区別	9
(4) 課題別まとめ	10
3. 「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデア	11
4. 第4次三鷹市基本計画第2次改定(1次案)に関する意見	12
IV 資料	15

I アンケート調査の概要

1. 調査目的

本調査は、第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）に対する市民の意見を把握し、同計画2次案や今後の施策への反映に向けた検討材料とすることを目的として実施したものである。

2. 調査設計

■調査対象及び調査手法

令和元年10月13日発行の広報特集号と同時に回答用はがきと質問内容が一緒に掲載されているアンケート用紙を全戸配布した。

回答は、はがきのほか、FAX、電子メール等でも受け付けた。

■調査期間

令和元年10月13日（日曜日）から11月1日（金曜日）まで

3. 調査項目

（1）回答者の基本属性

- ・年齢
- ・居住地区
- ・三鷹市居住年数

（2）第4次基本計画第2次改定（1次案）において重点的に取り組むべき課題（2つまで選択）

（3）「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデア

（4）第4次基本計画第2次改定（1次案）に関する意見

4. 回収結果

有効回収数：2,319件（はがき2,232件、封筒1件、FAX69件、電子メール17件）

5. 報告書の見方

（1）比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。

（2）複数回答の場合、百分率の合計は通常100%を超える。

（3）回答選択肢は、短縮して表記している場合がある。

（4）属性別の分析にあたっては、各属性サンプル数が少数（30未満）の場合には、的確に分析ができないため参考程度の扱いとする。

Ⅱ 調査結果の概要

(1) 第4次基本計画第2次改定（1次案）において重点的に取り組むべき課題について

- ・ 8つの課題は、回答者全体で3つのグループを形成した。

トップグループは、「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」、「安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる」の2つの課題である。

「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」、「人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる」がそれに続き、それ以外の4つの課題はそれらに大きく離されている。

- ・ 年齢別では、子育て期である20代～40代では「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」が高く、特に30代では72.3%に達する。

70代以上では、「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」が高く、この課題は年齢が上がるに連れ高くなる傾向にある。

上記の年齢別の傾向が反映されていると思われるが、居住年数別では10年未満の層は「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」が高く、30年以上では「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」が高い。

(2) 「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデアについて

- ・ 実査期間中に強い台風が上陸したということもあり、たくさんの記述をしていただいた（回答率66.2%）。

また、『安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる』に関する記述が1,000件強を占め、その中の主だった意見として「電柱の地中化」や「道路関連（拡張希望等）」に関する意見が多かった。

(3) 第4次基本計画（第2次改定）1次案に関する意見について

『第3部 安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる』に関する記述がトップであり、中でも「安全で快適な道路の整備」、「住環境の改善」、「都市交通環境の整備」についての意見が多く見られた。

第3部に続き多かったのは『第2部 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる』、『第8部 ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる』、『第6部 いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる』、『第5部 希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる』であった。

Ⅲ 調査結果

1. 基本属性

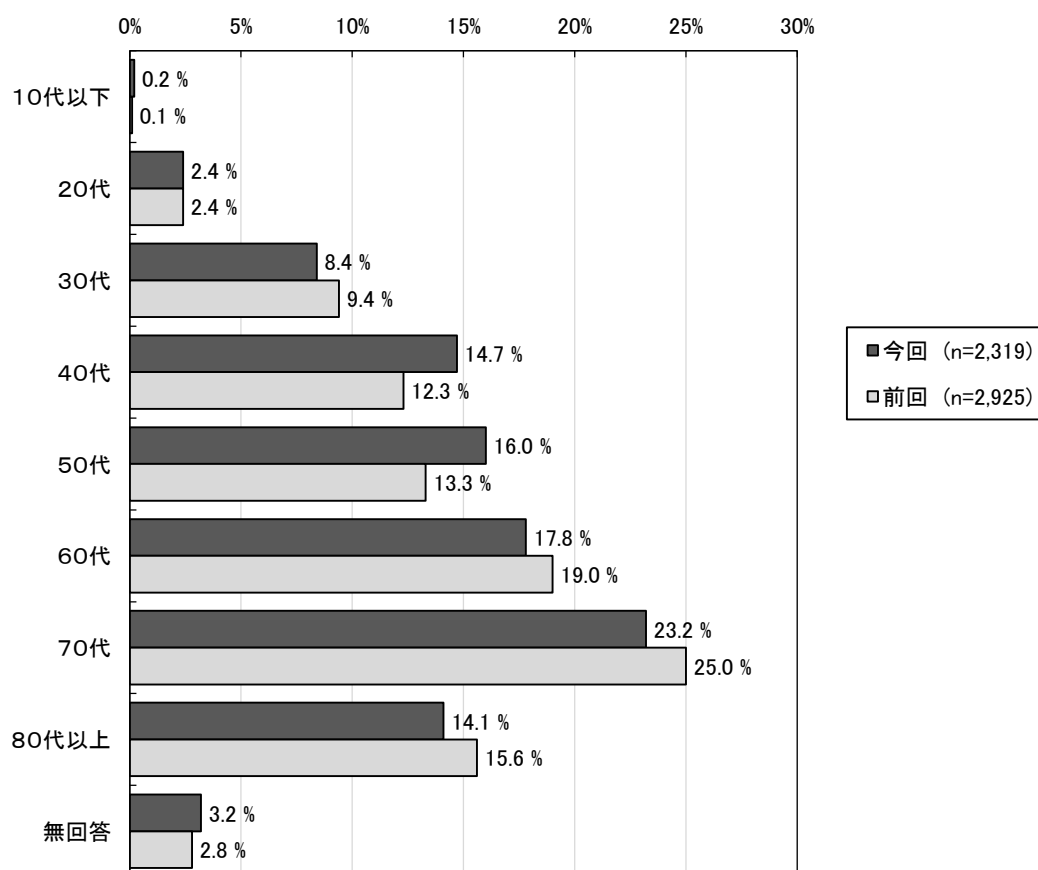
(1) 年齢

回答者の年齢構成比は、70代が最も高く、唯一20%以上（23.2%）であり、次いで60代（17.8%）、50代（16.0%）の順となっている。

前回比較では40代（14.7%）、50代（16.0%）が各2pt以上増加している。

また、前回同様60代以上の高年齢層の意見が多い（55.1%）ものの、前回比較ではその構成比は微減（-4.5pt）となっている。

図表Ⅲ-1-1 年齢（単一回答）



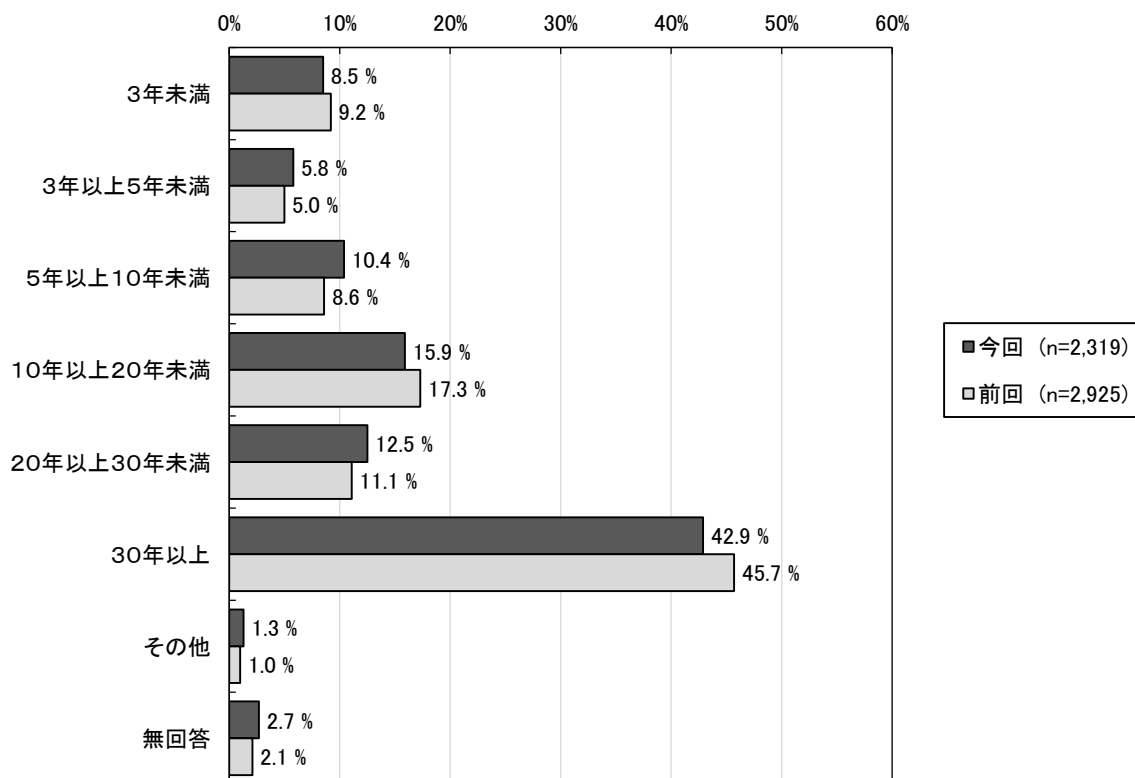
(2) 居住年数

回答者の居住年数構成比は、「30年以上」（42.9%）が最も高い。

「10年以上20年未満」（15.9%）、「20年以上30年未満」（12.5%）、「5年以上10年未満」（10.4%）が、それに次ぎ10%以上を占めている。一方、「3年未満」（8.5%）、「3年以上5年未満」（5.8%）は10%未満という結果である。

「30年以上」が42.9%を占めるものの、前回比較では2.8 p t 減であり、他との比較で増減率が最も高い。

図表Ⅲ－1－2 居住年数（単一回答）

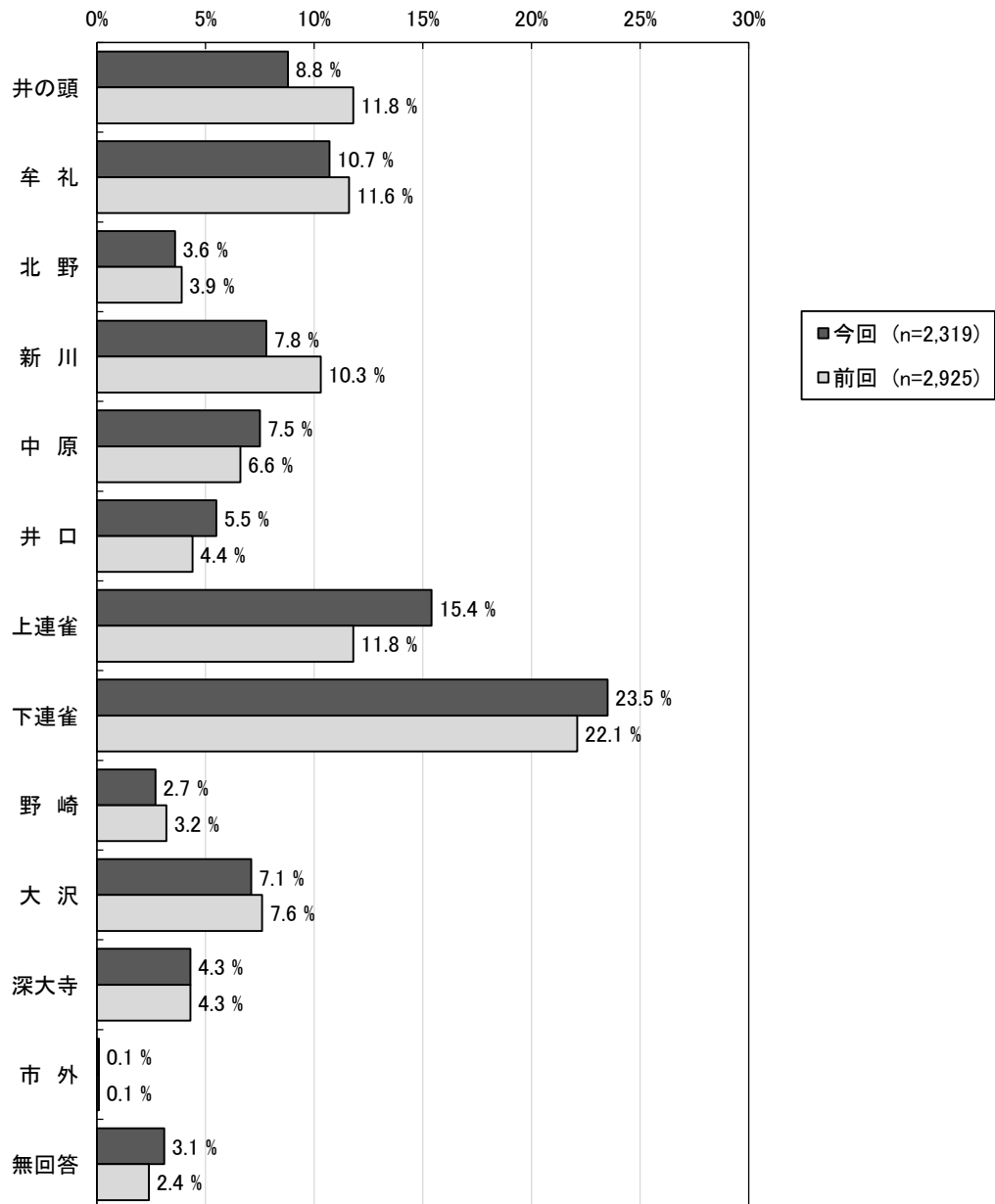


(3) 居住地区

回答者の居住地区構成比は、下連雀（23.5%）が最も高く、次いで上連雀（15.4%）、井の頭（8.8%）の順となっている。

前回調査と比較すると上連雀がやや増加（3.6pt）しており、井の頭（-3.0pt）・新川（-2.5pt）がやや減少している。

図表Ⅲ－1－3 居住地区（単一回答）



2. 第4次基本計画第2次改定（1次案）において重点的に取り組むべき課題

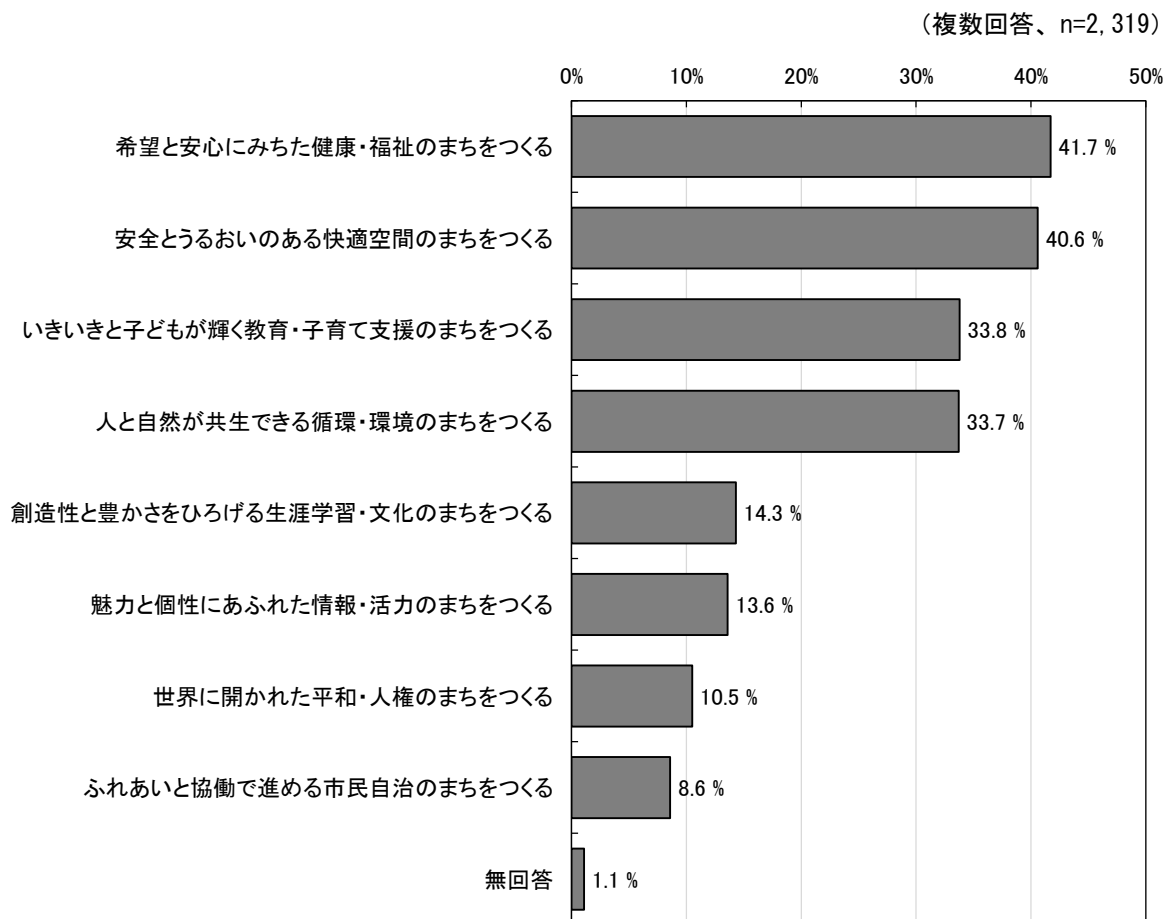
【問1】 第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）で掲げる8つの施策のうち、今後市が重点的に取り組むべきと思う項目を2つ選んでください。

重点的に取り組むべき課題は、概ね3グループが形成されている。

40%以上のトップグループは、「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」（41.7%）、「安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる」（40.6%）である。

「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」（33.8%）、「人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる」（33.7%）が30%台で続き、上記以外の4つの課題は15%未満という順になっている。

図表Ⅲ-2-1 第4次基本計画第2次改定（1次案）において重点的に取り組むべき課題



注) 回答者全体(n=2,319)の結果で高い順に並べ替えた

(1) 年齢別

年齢別では、20代～40代は「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」が各層40%以上と高く、特に30代では72.3%を占めている。

40代～50代は、「安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる」が各40%以上を占めている。

70代、80代以上は、「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」が各50%以上と最も高くなっていると同時に、年齢が上がるに連れ、回答の割合が高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-2-2 第4次基本計画第2次改定（1次案）において重点的に取り組むべき課題（年齢別）

	健康・福祉のまちをつくる 希望と安心にみちた	安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる	いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる	人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる	創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる	魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる	世界に開かれた平和・人権のまちをつくる	ふれあいと協働を進める市民自治のまちをつくる	無回答
回答者全体 (n=2,319)	41.7%	40.6%	33.8%	33.7%	14.3%	13.6%	10.5%	8.6%	1.1%
20代 (n=55)	25.5%	34.5%	54.5%	27.3%	14.5%	18.2%	10.9%	10.9%	1.8%
30代 (n=195)	23.1%	35.9%	72.3%	24.1%	15.9%	16.4%	5.6%	3.6%	0.5%
40代 (n=340)	30.3%	50.0%	44.7%	31.2%	14.1%	15.6%	5.9%	5.9%	0.9%
50代 (n=370)	41.1%	45.7%	25.1%	35.7%	17.0%	14.6%	9.7%	7.6%	1.1%
60代 (n=413)	43.3%	43.1%	31.0%	35.6%	14.5%	12.8%	10.4%	8.0%	0.2%
70代 (n=539)	50.1%	37.3%	27.1%	35.1%	12.6%	10.8%	13.7%	10.8%	1.1%
80代以上 (n=328)	53.0%	29.9%	22.9%	35.1%	13.7%	13.4%	13.7%	12.5%	2.1%

注1) 回答者全体結果で高い順に並べ替えた

注2) は回答者全体結果より5ポイント以上高い属性

注3) 「10代以下」の回収は5名に止まり、的確に分析ができないため、分析軸から除外した

(2) 居住年数別

居住年数別では、10年未満の層は「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」が各40%以上を占めている。

特に3年未満は60.6%と最も高くなっており、回答者全体より26.8p t高い。

30年以上では、「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」が49.1%を占めている。

図表Ⅲ-2-3 第4次基本計画第2次改定（1次案）において重点的に取り組むべき課題（居住年数別）

	健康・福祉の安心にみちたまちをつくる	安全とうるまのおいさをつくる	いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる	人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる	創造性と豊かさをひろげる学習・文化のまちをつくる	魅力と個性にあふれた活力のまちをつくる	世界に開かれた人権のまちをつくる	ふれあいと協働を進める市民自治のまちをつくる	無回答
回答者全体 (n=2,319)	41.7%	40.6%	33.8%	33.7%	14.3%	13.6%	10.5%	8.6%	1.1%
3年未満 (n=198)	28.3%	35.9%	60.6%	26.8%	14.6%	16.2%	8.1%	9.6%	-
3年以上5年未満 (n=135)	33.3%	44.4%	56.3%	21.5%	15.6%	14.1%	6.7%	3.7%	0.7%
5年以上10年未満 (n=241)	32.8%	46.9%	41.5%	33.6%	16.2%	17.8%	5.8%	4.1%	0.4%
10年以上20年未満 (n=369)	35.5%	42.3%	34.4%	36.6%	18.4%	13.0%	9.8%	7.6%	0.8%
20年以上30年未満 (n=289)	44.6%	42.6%	26.0%	34.9%	15.2%	13.5%	12.1%	9.0%	0.3%
30年以上 (n=995)	49.1%	38.0%	26.5%	35.5%	12.0%	12.4%	12.5%	10.4%	1.4%

注1) 回答者全体結果で高い順に並べ替えた

注2) は回答者全体結果より5ポイント以上高い属性

(3) 居住地区別

居住地区別で見ても、回答者全体の結果におけるトップ4のポジションに大きな変動はない。

新川、中原、大沢の「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」は、回答者全体と比較して5pt以上高い。

他の課題では、牟礼の「安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる」、「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」、北野、井口の「人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる」も同様の傾向である。

図表Ⅲ-2-4 第4次基本計画第2次改定（1次案）において重点的に取り組むべき課題（居住地区別）

	健康・福祉のまちをつくる	安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる	いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる	人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる	創造性と豊かさをはぐくむ生涯学習・文化のまちをつくる	魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる	世界に開かれた平和・人権のまちをつくる	ふれあいと協働を進める市民自治のまちをつくる	無回答
回答者全体 (n=2,319)	41.7%	40.6%	33.8%	33.7%	14.3%	13.6%	10.5%	8.6%	1.1%
井の頭 (n=205)	40.0%	35.1%	34.6%	35.1%	14.6%	11.7%	12.7%	10.7%	2.0%
牟礼 (n=247)	41.7%	45.7%	38.9%	34.4%	12.1%	12.1%	8.5%	4.9%	0.4%
北野 (n=83)	38.6%	44.6%	26.5%	44.6%	14.5%	10.8%	4.8%	8.4%	3.6%
新川 (n=180)	48.9%	33.9%	35.0%	32.2%	11.7%	10.6%	12.8%	11.1%	1.1%
中原 (n=173)	49.1%	39.3%	34.7%	27.7%	11.6%	12.7%	10.4%	12.7%	0.6%
井口 (n=128)	35.9%	42.2%	36.7%	39.1%	13.3%	13.3%	10.2%	9.4%	-
上連雀 (n=356)	42.7%	40.2%	30.3%	32.3%	15.7%	15.4%	9.0%	10.1%	1.7%
下連雀 (n=546)	37.0%	44.1%	33.5%	34.1%	16.5%	17.9%	8.6%	6.4%	0.4%
野崎 (n=62)	43.5%	30.6%	38.7%	29.0%	21.0%	12.9%	12.9%	11.3%	-
大沢 (n=165)	47.3%	34.5%	34.5%	32.1%	11.5%	8.5%	17.6%	10.3%	1.2%
深大寺 (n=100)	40.0%	42.0%	31.0%	37.0%	17.0%	10.0%	15.0%	6.0%	-

注1) 回答者全体結果で高い順に並べ替えた

注2) は回答者全体結果より5ポイント以上高い属性

(4) 課題別まとめ

■「希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる」(回答者全体結果41.7%)

年 齢 別 : 年齢が上がるに連れ高まる傾向。70代以上の各層では50%以上。
居住年数別 : 20年以上の各層で40%以上。特に30年以上では49.1%。
居住地区別 : 新川、中原、大沢で45%以上。井口が最も低く35.9%。

■「安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる」(回答者全体結果40.6%)

年 齢 別 : 40代、50代、60代で40%以上。
居住年数別 : 5年以上10年未満が最も高く46.9%、3年未満は35.9%に止まる。
居住地区別 : 牟礼が最も高く45.7%。野崎が最も低く30.6%。

■「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる」(回答者全体結果33.8%)

年 齢 別 : 20代、30代、40代で40%以上。特に30代では72.3%。
居住年数別 : 10年未満の各層で40%以上。特に3年未満では60.6%。
居住地区別 : 牟礼が最も高く38.9%。北野のみ20%台(26.5%)。

■「人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる」(回答者全体結果33.7%)

年 齢 別 : 20代、30代では25%前後だが、40代以上の各層では30%以上。
居住年数別 : 5年未満の各層では20%台に止まる。
居住地区別 : 北野のみ40%台(44.6%)で最も高い。

■「創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる」(回答者全体結果14.3%)

年 齢 別 : 各層で15%前後。
居住年数別 : 各層で15%前後。
居住地区別 : 野崎のみ20%台(21.0%)で最も高い。

■「魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる」(回答者全体結果13.6%)

年 齢 別 : 各層で15%前後。
居住年数別 : 各層で15%前後。
居住地区別 : 大沢のみ10%未満(8.5%)で最も低い。

■「世界に開かれた平和・人権のまちをつくる」(回答者全体結果10.5%)

年 齢 別 : 30代、40代では5%台に止まる。
居住年数別 : 3年以上10年未満の各層では5~6%台に止まる。
居住地区別 : 大沢が最も高く17.6%。北野が最も低く4.8%。

■「ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる」(回答者全体結果8.6%)

年 齢 別 : 30代では3.6%だが、80代以上は12.5%。8.9p t差。
居住年数別 : 30年以上が最も高く10.4%。
居住地区別 : 中原が最も高く12.7%。牟礼が最も低く4.9%。

3. 「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデア

【問2】 第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）では、東日本大震災や度重なる異常気象による大規模災害を踏まえ、優先課題として「質の高い防災・減災まちづくり」を掲げています。

この「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデアがありましたら、ご自由にお書きください。

『安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる』に関する記述が1,000件強あった。その内の主だった意見として「電柱の地中化（203件）」や「道路関連（拡張希望等（184件）」に関する意見が目を惹く。

次点では『魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる』で425件であった。

図表Ⅲ-3-1 「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデア

（自由回答、n=2,124※）

順位	項目	件数
1	安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる	1,005
	電柱の地中化	203
	道路関連(拡張希望等)	184
	避難所の設置・整備・備品	127
	水や防災備品の準備	78
	防犯カメラの設置	20
	駅・駅前の施設設置・整備	17
	上記以外の施設等の設置・整備	173
	2	魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる
防災放送関連		93
ハザードマップ関連		50
HPやサイト関連		44
上記以外の情報供給関連		194
3	ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる	299
	訓練関連	68
	防災センター・となり組の設置	40
4	人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる	163
	水害対策	117
5	希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる	86
	高齢者関連(介護・声かけ等)	45
	喫煙所・タバコ関連	5
6	いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる	43
7	世界に開かれた平和・人権のまちをつくる	6
8	創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる	6
	総論・感想等	91

※回答件数は1,536件
ただし、1件の回答内に複数の回答がある場合には、各項目にカウントしている。

注)多い順に並べ替えた

4. 第4次基本計画第2次改定（1次案）に関する意見

【問3】 第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

『第3部 安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる』に関する記述が540件でトップであった。

主だった意見として、「安全で快適な道路の整備（139件）」、「住環境の改善（132件）」、「都市交通環境の整備（105件）」があり、各100件以上の意見が寄せられた。また、問2の＜「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデア＞からの流れを受けての記述も多く見られた（詳細は、次ページ参照）。

第3部に続いては『第2部 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる（271件）』、『第8部 ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる（236件）』、『第6部 いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる（225件）』、『第5部 希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる（212件）』の順となっている。

図表Ⅲ－4－1 第4次基本計画第2次改定（1次案）に関する意見

（自由回答、n=1,723※）

※回答件数は1,357件
ただし、1件の回答内に複数の回答がある場合には、各項目にカウントしている。

順位	項目	件数
1	第3部 安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる	540
2	第2部 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる	271
3	第8部 ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる	236
4	第6部 いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる	225
5	第5部 希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる	212
6	第7部 創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる	108
7	第4部 人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる	75
8	第1部 世界に開かれた平和・人権のまちをつくる	56

注) 多い順に並べ替えた

図表Ⅲ－４－２ 第４次基本計画第２次改定（１次案）に関する意見

（自由回答、n=1,723）

順位	項目	件数
1	第3部 安全とろうおいのある快適空間のまちをつくる	540
	安全で快適な道路の整備	139
	住環境の改善（下記3項目 計）	132
	住環境の改善	80
	安全安心のまちづくり	50
	住環境の改善－その他	2
	都市交通環境の整備	105
	災害に強いまちづくりの推進	95
	緑と水の快適空間の創造	63
	第3部 その他	6
2	第2部 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる	271
	再開発の推進	98
	商業環境の整備（下記3項目 計）	87
	商業環境の充実	65
	都市型観光の推進	22
	商業環境の整備－その他	0
	情報環境の整備	27
	都市型農業の育成	25
	都市型産業の育成	25
	消費生活の向上	6
	第2部 その他	3
3	第8部 ふれあいと協働で進める 市民自治のまちをつくる	236
	「21世紀型自治体」の実現と都市自治の確立	133
	コミュニティの展開と協働のまちづくりの推進	99
	第8部 その他	4
4	第6部 いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる	225
	子育て支援の充実	125
	魅力ある教育の推進	48
	安全で開かれた学校環境の整備	24
	子どもの人権の尊重	20
	第6部 その他	8
5	第5部 希望と安心にみちた 健康・福祉のまちをつくる	212
	高齢者福祉の充実	106
	健康づくりの推進	54
	障がい者福祉の充実	16
	地域福祉の推進	14
	生活支援の充実	14
	第5部 その他	8
6	第7部 創造性と豊かさをひろげる 生涯学習・文化のまちをつくる	108
	生涯学習の推進（下記3項目 計）	40
	生涯学習活動	11
	図書館活動	29
	生涯学習の推進－その他	0
	市民スポーツ活動の推進	32
	芸術・文化のまちづくりの推進	31
	第7部 その他	5
7	第4部 人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる	75
	環境保全の推進	34
	資源循環型ごみ処理の推進	20
	水循環の促進	12
	第4部 その他	9
8	第1部 世界に開かれた平和・人権のまちをつくる	56
	国際化の推進	23
	平和・人権施策の推進	20
	男女平等参画社会の実現	7
	第1部 その他	6
	総論・感想等	122

注)多い順に並べ替えた

資料編

第4次三鷹市基本計画第2次改定(1次案)

皆さんの声をお聞かせください

現在、市では、市政運営の指針となる「第4次三鷹市基本計画」の第2次改定を進めており、広報特集号では1次案の概要を掲載しています。

皆さんの声を将来のまちづくりに反映させるため、アンケートにご協力ください。

アンケートの回答方法

◆①下の郵便はがき(切手不要)②電子メール③FAXによりお寄せください。電子メールの回答方法については、ホームページに回答例を記載しています。

(電子メール及びFAXの送信費用は、送信者の負担となりますのでご了承ください。)

※回答の内容は、統計的な資料作成のために使用するものであり、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

また、調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

郵便はがき
181-8790

三鷹市承認
2799

三鷹市野崎一丁目1番1号

三鷹市企画部企画経営課 行

差出有効期限
令和元年
11月1日まで
<切手不要>



◆ 差支えなければ、該当するものに○をつけてください

年齢	① 10代以下 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上
居住地区	① 井の頭 ② 牟礼 ③ 北野 ④ 新川 ⑤ 中原 ⑥ 井口 ⑦ 上連雀 ⑧ 下連雀 ⑨ 野崎 ⑩ 大沢 ⑪ 深大寺 ⑫ 市外
三鷹市にお住いの年数	① 3年未満 ② 3年以上5年未満 ③ 5年以上10年未満 ④ 10年以上20年未満 ⑤ 20年以上30年未満 ⑥ 30年以上 ⑦ その他

第2次改定の詳細はこちらから！



▲スマートフォンなどで読み取ると市ホームページにアクセスできます。

回答期限

令和元年(2019年)
11月1日(金) 必着

お問い合わせ

三鷹市企画部企画経営課企画調整係

電話 0422(45)1151 内線2151

FAX 0422(48)1419

E-mail kikaku@city.mitaka.tokyo.jp

http://www.city.mitaka.tokyo.jp/



以下のアンケート項目にお答えください。

【問1】 第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）で掲げる8つの施策のうち、今後市が重点的に取り組むべきと思う項目を2つ選んでください。

- ① 世界に開かれた平和・人権のまちをつくる
- ② 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる
- ③ 安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる
- ④ 人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる
- ⑤ 希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる
- ⑥ いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる
- ⑦ 創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる
- ⑧ ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる

【問2】 第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）では、東日本大震災や度重なる異常気象による大規模災害を踏まえ、優先課題として「質の高い防災・減災まちづくり」※を掲げています。

この「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデアがありましたら、ご自由にお書きください。※詳細は広報特集号の6・7面をご覧ください。

【問3】 第4次三鷹市基本計画第2次改定（1次案）に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

FAXで回答される方は、差支えない範囲で該当する欄に○をつけてください。

年 齢	① 10代以下 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上
居住地区	① 井の頭 ② 牟礼 ③ 北野 ④ 新川 ⑤ 中原 ⑥ 井口 ⑦ 上連雀 ⑧ 下連雀 ⑨ 野崎 ⑩ 大沢 ⑪ 深大寺 ⑫ 市外
三鷹市にお住いの年数	① 3年未満 ② 3年以上5年未満 ③ 5年以上10年未満 ④ 10年以上20年未満 ⑤ 20年以上30年未満 ⑥ 30年以上 ⑦ その他

（切り取ってご投函ください）

アンケート回答票

【問1】 ①～⑧の中から2つ選択		
重点的に取り組むべきと思う項目		
【問2】 「質の高い防災・減災まちづくり」を進めていく上でのアイデアがありましたらお書きください。		
【問3】 その他、1次案に関するご意見等がありましたらお書きください。		

第4次三鷹市基本計画第2次改定(1次案)に係る
アンケート調査報告書

令和元年12月発行

発行 三 鷹 市

編集 三鷹市企画部企画経営課

株式会社アダムスコミュニケーション

〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号

電話 0422-45-1151 (代表)